

スポーツ交流会

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、名称を「スポーツ交流会」として、種目を絞り、三密に配慮しながら開催しました。ご来賓は、洲の子応援団運営委員会の方のみ、保護者の皆様も各家庭2名までとさせていただきます。平日朝のお忙しい時間帯にも関わらずご参観いただき、子どもたちも応援に後押しされて、練習の時以上にはりきって競技に臨んでいました。ご声援、本当にありがとうございました。

今回は、各学年の短距離走、連学年種目として1・2年生は「チェッコリダンスと玉入れ」、3・4年生は「全員リレー」5・6年生は「綱引き」の各種目を行いました。1・2年生は曲に合わせて踊るダンスがとてかわいらしく、玉もたくさんかこの中に入っていました。3・4年生は1学期から練習を重ねてきた全員リレーでした。はじめはリードしながらのバトンの受け渡しに苦労していましたが、練習を繰り返す中で、バトンパスがとてスムーズになっていきました。本番も接戦で、見応えのある力走が見られました。5・6年生は綱引きでした。2回戦とも綱の中心がほとんど動かない状態の接戦で、1対1の引き分けでした。あっという間の1時間半でしたが、子どもたちは日頃の練習の成果を発揮し、よく頑張ってくれました。

今年度、新型コロナウイルスの感染防止に配慮しながらのスポーツ交流会となりました。終息が見えない中で、学校行事を実施するに当たっては、最大限の感染防止対策を講じていく必要があります。今後ご理解ご協力をいただかなければならないことが続きますが、引き続き宜しくお願い致します。



頑張ったスポーツ交流会（6年短距離走）

3～6年生が交通安全教室を行いました！

8月は長野県内で、児童生徒が自転車運転中に交通事故に遭い命を落としたり、大けがをしたりするという痛ましい事故が続きました。1学期、新型コロナウイルス感染防止対応で学校が臨時休業となり、3～6年生は交通安全教室が実施できていませんでした。（1・2年生は実施済）そこで、9月10日（木）に交通安全教育支援センターの指導員の方を講師に迎え、交通安全教室を行いました。ヘルメット着用の重要性や自転車に乗る上で気をつけること等を具体的に指導いただきました。三つの約束「止まる」「見る」「待つ」を守って通行すること、万が一事故に遭ったら、「大丈夫です」とは言わないことやその場から去らずに大人に助けを求めること等も教えていただきました。校区には車の往来が激しい道路や細くて見えにくい道路がたくさんあります。是非、今回学んだことを生かし、安全を意識しながら日々の歩行や自転車の運転をしてほしいと思います。



3つの約束「止まる」「見る」「待つ」

☆タイムカプセル取り出し

○豊洲小創立100周年の1990年に埋設したタイムカプセルを8/22（土）に取り出しました。埋設ボックスのパネルには「2020年にひらきます」と刻まれており、今年11/22（日）に開封イベントを計画していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から来年度以降に延期することとしました。昨年の台風19号で学校が水に浸かったこともあり、タイムカプセルの状態を確認するために取り出すことにしました。当日は、クレーンで約500kgのタイムカプセルを引き上げる大がかりな作業となりました。心配した腐食などはなく安心しました。開封イベントまで、校内で大切に保管させていただきます。【裏面 8/29(土)須坂新聞】

☆PTA活動より

○9月4日（金）に行われたPTA理事会で、第2回のPTA資源回収【10月10日（土）実施予定】について、新型コロナウイルス感染防止対応として、地域での回収は行わず、PTA会員宅にある資源物を当日学校に持参いただくこととしました。回収時間帯は、小島・豊島・北相之島の各地区が7：00～8：00、相之島・新田・小河原・南小河原の各地区が8：00～9：00となります。多くのご家庭のご協力を宜しくお願いします。なお、車での持ち込みにあたり、校門側から校庭に入り、児童クラブ側から校庭を抜け、校庭西側のりんご畑側を通る一方通行でお願いします。

☆お知らせとお願い

- ・毎日の新型コロナウイルスへの感染防止対応、誠にありがとうございます。長野県の安全警戒レベルが「2」→「1」に下がったものの、GoToキャンペーンが東京でも10月から始まる予定となり、県をまたぐ行き来が益々活発になることが予想されます。引き続き、気持ちを緩めることなく、感染予防対策に丁寧に取り組んでいきたいと考えています。ご理解ご協力を宜しくお願いします。
- ・日がだいぶ短くなってきました。10月の帰宅時刻は17：00となっています。帰宅時刻には、自宅に戻るよう、17：00より前に帰途につけるよう声がけをお願いいたします。

30年の時を経て タイムカプセル

豊洲小に出現 開封は来年度

30年前に埋設したタイムカプセルが姿を現した。豊洲小タイムカプセル開封実行委員会(野口勇一実行委員長、15人)の委員と佐藤富美子校長ら同校職員の16人が22日、地上に取り出した。写真。高さ150センチ、直径80センチ、重さ500キロ。野口委員長(2年前のPTA会長)は当時5年



生に在籍した当事者の一人。「創立100周年記念式典は覚えてい

るが、カプセルに入れた物は覚えていない。開封後はそれぞれ本人に渡したい」と話す。埋設は平成2(1990)年2月24日。全校児童やPTA、来賓らが見守る中、創立100周年記念事業の最後を飾る事業として玄関脇に埋設された。



埋設ボックスの4面には校歌にうたわれる「若き芽」の文字や豊洲小・旧豊洲中の校章が刻まれている。上ぶたには同校を中心にした方位盤がボルトで固定されている。「西暦2020年にひらきます」と刻まれ、地域でも開封を楽しみに待つ人がいる一大事業だ。

委員でPTA会長の市村清和さんは「私自身1年早く卒業した。関係者は30年前の自分と対面できる楽しみがあるのでは」と話す。埋設ボックスは昨年10月の台風19号水害により、半分ほどが水に漬かったという。開封イベントは、新型コロナウィルス感染拡大防止の観点から本年度は行わず、来年度に延期する計画。それまで校内に保管する。

平成2年3月3日付須坂新聞には、児童の絵画や版画、習字、作文、学級の写真、ビデオ、学校の歴史、記念誌、式典ビデオ、豊洲地区や須坂市の資料などが入っていると記さ